

■Vol. 56

(No. 767) 第13話 もったいない

ータバコに手をつけない事が肝心だ...

左図は、ある会社が2018年に実施したタバコに関する調査結果です。毎月のタバコ代にいくら使っているかを示していますが、5,000円～10,000円未満と10,000円～15,000円未満を合わせると60%以上を占めているので、大半は1万円前後を支出していると思われる。

そこで、総務省統計局の家計調査のデータで4人家族の1ヶ月の電気代をみてみると、その平均は約12,000円とされています。つまり、喫煙者一人のタバコ代は家族の電気代をまかなえるほどの額なのです。

家族の電気代と同じだけのお金を使って得られるものは何もなく、それどころか健康を損なうだけなのですから、本当にもったいないかぎりです。そのうえ、タバコを吸い始めニコチン依存症になってしまうと10年も20年も吸い続ける事になるので、上の表のように相当なタバコ代がかかってしまいます。仮に毎日一箱買い続けると、その額は5年で100万円を超え、30年では600万円を超えてしまいます。こんなに多額なお金をつぎ込んでしまつては「もったいない」で済ませられるでしょうか。

この事をしっかり認識しておいて下さい。そしてタバコには手をださないようにして下さい。

VOLUME 56 2023 SEP.-DEC. Social number 767 第13話 週刊 タバコの正体

たばこにかける1か月の金額

左図は、ある会社が2018年に実施したタバコに関する調査結果です。毎月のタバコ代にいくら使っているかを示していますが、5,000円～10,000円未満と10,000円～15,000円未満を合わせると60%以上を占めているので、大半は1万円前後を支出していると思われる。

そこで、総務省統計局の家計調査のデータで4人家族の1ヶ月の電気代をみてみると、その平均は約12,000円とされています。つまり、喫煙者一人のタバコ代は家族の電気代をまかなえるほどの額なのです。

1日1箱(20本・580円※)吸っていた場合 ※メビウス レギュラーシリーズで計算

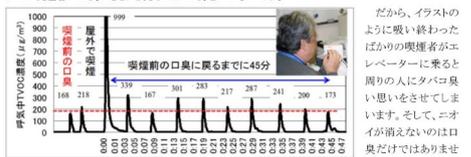
1年	580円 × 365日 × 1 = 211,700円	家族旅行に行ける
5年	580円 × 365日 × 5 = 1,058,500円	車が買える
10年	580円 × 365日 × 10 = 2,117,000円	新築購入の資金にできる
20年	580円 × 365日 × 20 = 4,234,000円	
30年	580円 × 365日 × 30 = 6,351,000円	

家族の電気代と同じだけのお金を使って得られるものは何もなく、それどころか健康を損なうだけなのですから、本当にもったいないかぎりです。そのうえ、タバコを吸い始めニコチン依存症になってしまうと10年も20年も吸い続ける事になるので、上の表のように相当なタバコ代がかかってしまいます。仮に毎日一箱買い続けると、その額は5年で100万円を超え、30年では600万円を超えてしまいます。こんなに多額なお金をつぎ込んでしまつては「もったいない」で済ませられるでしょうか。この事をしっかり認識しておいて下さい。そしてタバコには手をださないようにして下さい。

産業デザイン科 奥田恭久
Zero Project In WAKO Since 2005

VOLUME 56 2023 SEP.-DEC. Social number 768 第14話 週刊 タバコの正体

タバコの煙がモクモクしている場面に遭遇すると、見るからに有害だと感じるのですがその場から離れるでしょう。しかし、煙がなくなってもタバコの有害成分は消えるわけではない事を知っていますか。煙は見えなくてもタバコのニオイがするのはそのせいです。例えば、下のグラフにあるようにタバコを吸い終わった喫煙者の口臭がもとに戻るまでに45分かかります。



だから、イラストのように吸い終わったばかりの喫煙者がエレベーターに乗ると周りの人にタバコ臭い思いをさせてしまいます。そして、ニオイが消えないのは口臭だけではなく、髪の毛や服にもニオイはしみつくので、かなり長い間タバコ臭いのです。

これって、他人のタバコを吸わされているのと同じです。そこで、喫煙者の煙を吸われる受動喫煙は二次喫煙、ニオイを吸われる受動喫煙は三次喫煙と呼ばれているのです。

喫煙者には、人のいる前で吸わないようにするのはもちろん、二次喫煙もさせない事にも気をつけてもらわなければなりません。そこまでしなければならなくなるのだから、やっぱりタバコを吸い始めてはいけません。

産業デザイン科 奥田恭久
Zero Project In WAKO Since 2005

■Vol. 56

(No. 768) 第14話 三次喫煙

ー喫煙後45分間はエレベーター利用禁止...

タバコの煙がモクモクしている場面に遭遇すると、見るからに有害だと感じるのだからその場から離れるでしょう。しかし、煙がなくなってもタバコの有害成分は消えるわけではない事を知っていますか。煙は見えなくてもタバコのニオイがするのはそのせいです。例えば、下のグラフにあるようにタバコを吸い終わった喫煙者の口臭がもとに戻るまでに45分かかります。

だから、イラストのように吸い終わったばかりの喫煙者がエレベーターに乗ると周りの人にタバコ臭い思いをさせてしまいます。そして、ニオイが消えないのは口臭だけではなく、髪の毛や服にもニオイはしみつくので、かなり長い間タバコ臭いのです。

これって、他人のタバコを吸わされているのと同じです。そこで、喫煙者の煙を吸われる受動喫煙は二次喫煙、ニオイを吸われる受動喫煙は三次喫煙と呼ばれているのです。

喫煙者には、人のいる前で吸わないようにするのはもちろん、二次喫煙もさせない事にも気をつけてもらわなければなりません。そこまでしなければならなくなるのだから、やっぱりタバコを吸い始めてはいけません。

毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

